

九州厚生局・令和4年度第2回地域共生セミナー
令和4年8月5日(金)オンライン(Zoom)開催

広がる農福連携
地域共生社会の柱のひとつに

株式会社熊本地域協働システム研究所・相談役
農林水産政策研究所・客員研究員
熊本市心の障害者家族会・会長
宮田喜代志

目次

はじめに

1. 農福連携の始まり、広がり、国民的運動へ
2. 農福連携が定着するまで
3. 農福連携が地域で果たす役割
4. 地域共生社会の柱のひとつに
5. 高齢者等の農福連携；コミュニティ農園・CSA

おわりに

はじめに

- 農業経済から出発して福祉の世界へ
- 脳卒中、障害乳幼児、共同作業所、家族会
- 中山間地の「介護ネットワーク」形成をどう見るか
～農村高齢者福祉の新しい担い手像～

(『文化連情報』に2004年8月～2005年3月に6回連載)

- 農林水産政策研究所の研究チームに参加して
- 農福連携地域推進員養成塾(2019年～20年)
- 農が福祉と人を結びつける講座(2020年～21年)

1. 農福連携の始まり、 広がり、国民的運動へ

- ①国策となった農福連携
- ②農福連携の多様な広がり
- ③全国の農福連携実践事例

農林水産政策研究所では、平成19年度より社会福祉法人等の農業分野への進出、障害者の農業分野での就労といった「農福連携」について研究を蓄積しています。本報告は、これらの研究成果から多くのことを学びお伝えしています。

①国策となった農福連携

農福連携等推進ビジョンによる、

- 「農」の広がりへの支援
- 「福」の広がりへの支援

農福連携等推進ビジョンは、令和元年6月4日農福連携等推進会議により決定されました。

農福連携を地域づくり、とりわけ地域共生社会を広げていくための担い手(主体)と位置付け、その役割への期待が高まっています。

②農福連携の多様な広がり

▶ 福祉から農業へ

- (1) 農家等とのタイアップで就労機会を創生
- (2) さらに工賃アップのための農業部門開設

▶ 農業から福祉へ

人手不足対策としての障害者雇用、

(施設外就労、共同受注、障害者枠での雇用)

▶ 企業の参入

雇用率達成のための農業参入、特例子会社、派遣

▶ 市民協働型（コミュニティ型）

地域共生社会の課題解決のための多様な取り組み

③全国の農福連携実践事例

- ノウフク・マッチング・ハンドブック

<https://www.notosoken.jp/>

- 「農が福祉と人を結びつける講座」
アーカイブを閲覧ください。

<https://www.noufuku.info/>

- 農水省のMaffchannel

<https://www.youtube.com/hashtag/%E8%BE%B2%E7%A6%8F%E9%80%A3%E6%90%BAproject>



MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

福祉から農業へのタイプ

- **鹿児島県 白鳩会・花の木農場**
ハンドブックのP13～16参照
大隅半島農福連携コンソーシアム事務局担当
- **福島県 こころん**
ハンドブックのP17～21参照
農福連携定着の三段階でも紹介
- **千葉県 みんなにやさしい畑**
ハンドブックのP53～54参照
地域活動でつながり市民協働型



わたしたちの思い

白鳩会は、障がいのある方の新しい「生活の形」や「労働の形」を育ててきた、いわば福祉の大地です。

昭和48年、南大隅で初めての更生施設「おおすみの園」を皮切りに、授産施設「セルフ花の木」などさまざまな種子を芽吹かせてきました。

そこには、職員と利用者が共に汗を流し、共に育つという「共汗・共育」の精神が、土壤にしみ込むように浸透し、成長を支えています。

かのやばら園や佐多岬、道の駅根占。
南大隅にお越しの際は、
「花の木農場」にもお越しください。



- ① 第2花の木ファーム
- ② 花の木ファーム
- ③ グループホームおおすみ
- ④ グループホーム花の木1
- ⑤ グループホーム花の木2
- ⑥ グループホーム花の木3
- ⑦ グループホーム花の木4
- ⑧ グループホーム白鳩
- ⑨ グループホームおおすみ6
- ⑩ ケアホーム花の木1
- ⑪ ケアホーム花の木2
- ⑫ 職員宿舎
- ⑬ 緑風
- ⑭ 牛舎
- ⑮ 畑
- ⑯ ブルーベリー 梅畑
- ... バリアフリーロード

社会福祉法人こころん

就労支援

- * 就労移行支援
- * 就労継続支援A型・B型
- * ジョブコーチ支援

障がいがあるなしにかかわらず
誰もが安心して暮らせる
地域社会を目指して…

cocoron

その人らしい
地域での暮らしを
支える

生活支援

すまいと暮らしを
支援します。

- * グループホーム
- * ケアホーム
- * ホームヘルプ
サービス

活動支援

いつでも相談できます。

- * 地域活動支援センター
- * 相談支援事業

こころの地域づくり

こころん



みんなにやさしい畑(千葉県いすみ市) (農業×福祉×地域)+地域外交流+次世代

みんなにやさしい畑

事業内容

菜花栽培

加工品販売

農業体験
研修・視察

サポーター
会員

<https://minnahatake.com/>

農業から福祉へのタイプ

- **障害者就労センターみなよし**
ハンドブックのP35～36参照
行政とタイアップ、地域課題解決のための多角化
- **熊本福祉会・翔**
ハンドブックのP45～46参照
地元の農事組合法人等と連携し施設外就労
- **香川県社会就労センター協議会（共同受注）**

<https://www.youtube.com/watch?v=bah6BG9INXY&list=TLGGApKK9HZgZK4xNzAyMjAyMg&t=9s>

障害者就労センターみなよし(株式会社誠晃)

障害者就労継続支援A型事業所「障害者就労センターみなよし」は鹿児島中央駅から車で15分の、鹿児島市小野町、鹿児島市北部清掃工場近くの静かな場所にあります。「さらなる可能性への挑戦」を理念に農作物の生産、販売に取り組んでいます。

作業内容は主に農作業をおこなっており、葉や土の香りに包まれ、自然と触れ合いながらの作業はとても気持ちが良い、また収穫や販売時には達成感があると利用者様に喜ばれています。

障害者手帳をお持ちの方、障害者就労センターみなよしで働いてみませんか？ 見学や体験は随時承っておりますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

翔(NPO法人熊本福祉会)

新しい働き方＝「農業と福祉の連携」

私たちは「農福連携」を通じて、障がい者の雇用と自立、農業の担い手不足の解消という地域課題を解決する、Win-Winの関係づくりに取り組んでいます。

翔では、業務委託をして下さる契約農家さんを募集しています。

これまでも、翔では様々な野菜の栽培をまかされ、たくさんの実績を作ってきました。例えば、玉ねぎは種から苗を育て、収穫するときにはXXトンにも育ちました。

様々な実績がありますので、担い手不足にお悩みの方は、ぜひ一度私たちと組んでみませんか？ 障がい者を一人雇うことは難しくても、私たちならきっと戦力になれます。

香川県社会就労支援センター協議会

農家と障害者福祉施設の連携により共同受注で障害者の工賃アップを実現しています。



写真は厚生労働省、農林水産省「福祉分野に
農作業を～支援制度などのご案内～」より

2. 農福連携が定着するまで

これまでの農福連携実践の多くは、誤解を恐れずに言えば、「自己犠牲」の上に成り立っていたのではないでしょうか。それは尊いことではありますが、これからはそれだけではいけないと思います。

- ①農福連携定着の三段階
- ②多角化(複合化)
- ③地域ネットワークの形成
- ④マネジメント力の獲得
- ⑤農福連携を進めると地域にどんな効果があるか

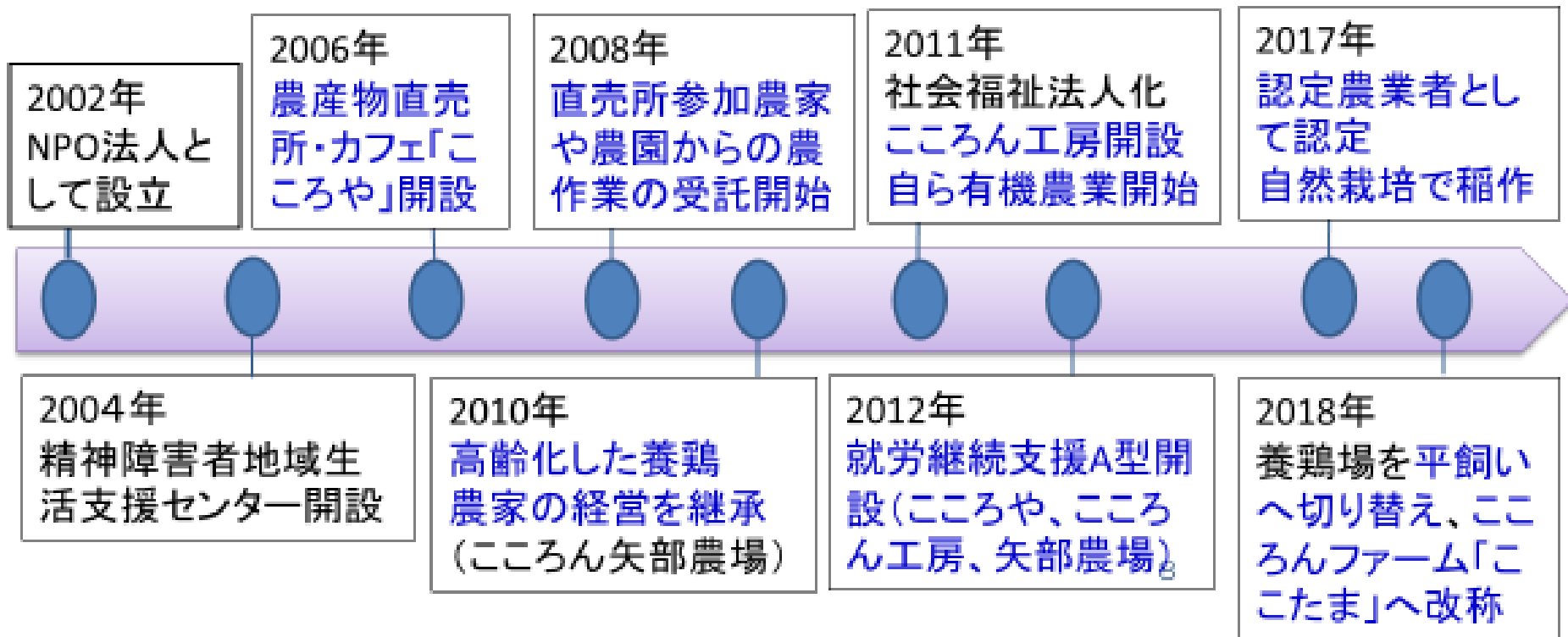
①農福連携定着の三段階

- 10年以上の時間を経ても維持継続している事例がたくさんあります。その特徴の一つは、時間経過に沿った「段階的な発展」をしていることです。
- スタート時からの成長の経緯を見てみると、段階的に「多角化」がすすめられ、地域資源とつながって「地域ネットワーク」を形成し、失敗を繰り返しながらも「マネジメント力」を獲得しています。

②多角化

スタート時からの成長の経緯を見てみると、段階的に「多角化」がすすめられています。

社会福祉法人ころんの農業部門への参入の経緯



出所;農林水産政策研究所報告書、吉田行郷氏作成の経過図による。

③地域ネットワークの形成

- ②の多角化の到達点として、たくさんの地域資源とつながって「地域ネットワーク」を形成しているのが特徴です。
- 地域ネットワークの形成は、地域共生社会を実現していくための農福連携の可能性を示しています。

※ノウフク・マッチング・ハンドブックの【P69-70】に、ネットワークが形作られるプロセスについて書いてあります。事例にはネットワーク図があります。

④ マネジメント力の獲得

- 最終的に、財務・労務・販売計画などの経営管理が工賃アップや職場環境改善に結びつくよう「マネジメント力」を獲得しています。
- 他の業種と同じく経営理論が適用されます。

人
モノ
金
情報

が効果的に結合し最適解へ

⑤ 農福連携を進めると地域にどんな効果があるか

- 各地の経験から、農福連携を中心に地域づくりのプロセスで多様な結び付きが生まれ、新しい「地域コミュニティ」が形成されることが分かってきました。
- 農福連携は、単に農村の「人手不足解消」や利用者の「工賃アップ」にとどまらず、地域経済を支え地域再生を担っていく、地域の「主体形成」につながっているのです。
- やがて農福連携事業所は、地域になくってはならない事業所となっていくと思います。



農福連携を中心に地域づくり
のプロセスで多様な結び付き
が生まれ、新しい「地域コミュ
ニティ」が形成される。

参考文献;『農福連携が農業と地域をおもしろくする』吉田行郷、里見喜久夫、季刊『コトノネ』編集部著
2020年。コトノネ刊。

4. 地域共生社会の柱のひとつに

- ①めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！を読む
『構造化』で農作業を確実にする
- ②農福連携は地域リハビリテーション
- ③小さいことはいいことだ！
…農福連携の本質
- ④小規模であることの意義
- ⑤地域共生社会の主体

①めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！を読む

- 静岡県浜松市の京丸園の実践から
- 絵本『めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！』の言いたいこと。
- 障害の理解と労働の分解を分かりやすく感動的に記述





うちの めねぎのうえんは
400ねんも むかしからある のうえんで、
わたしは その13だ いめだ。

めねぎ
そだてよう
ねんごのこころ

あるひ、
とくべつしえんがっこうの
やまだせんせいが
ふたりのせいとをつれて
やってきた。

「すずきさん、せいとたちを
めねぎのうえんで
はたらかせて
もらえませんか？」
という はなしだった。



『構造化』で農作業を確実にする

- 構造化とは、主に自閉スペクトラム症 (ASD) の子どもやその家族の支援を目的として開発された、活動 (労働) の支援方法です。生活全般における総合的・包括的なプログラム「TEACCH」で用いられ始めました。
- 構造化による支援は、ASDの子どもたちだけではなく、一般の子どもたちや、我々大人にとっても有効です。
- 構造化には、「時間の構造化」「空間の構造化」「手続きの構造化」などがあり、可視化で大きな効果があります。

TEACCH (Treatment and Education of Autistic and related
Communication-handicapped Children)

発達障害などの特性として、タイプ見分けや手順などが呑み込めないことがあります。そのような時は、具体的な商品の特徴や種類の違い、正しい手順を写真や図で示すのが効果的です。

ダンボールへの詰め方

キュウリ選別参考図

選別基準

出荷基準

上記のものは選別の際に袋の裏に入れてください。

加工依頼

加工形態	ポードン袋9号
入り数・内容量	1袋=145~155g入り

加工依頼

加工形態	プラスチックパック150gサイズ
入り数・内容量	1袋=145~155g入り

※「おま」とおれで市バー320枚 1ケース20個入り
 ※「スマイル」おれで市バー210枚 1ケース20個入り×A、40個入り×B
 ※「まごころ農家」110枚 1ケース20個入り×A、30個入り×B
 ※「おひん作」140枚 1ケース20個入り

1-1. 出荷基準(50粒品種の状態): きゅうり(コアフード、徳用を含む)

【出荷基準】

上記のものは選別の際に袋の裏に入れてください。

あれから 20ねん——。

めねぎのうえんでは、まいとし あたらしい
なかまと、「ガーン」のおかげで、
いまでは 100にんが はたらいている。

すずきさん、
ことしも せいとを
つれてきたよ！



とりあつた
おかし
おかし
おかし

おかし
KING

おかし
おかし

② 農福連携は地域リハビリテーション

- 農福連携のもう一つの側面は、福祉サイドにおける**地域リハビリテーション**であるということです。
- また、地域に多様に存在する「社会資源」を束ねていく「拠点機能」として、地域的な広がりを持った**社会福祉実践**となっていくます。
- さらに、農業サイドにおけるパイロットとしての役目があります。障害者や高齢者、様々な人が参加できる**ユニバーサル**な「技術体系」がつけられ、これからの農業のあり方を切り開くこととなります。

③小さいことはいいことだ！

…農福連携の（経済学的）本質

- 際限のない膨張主義は、資源・環境の両面から、自然を暴力的に破壊・汚染する一方、産業人の体質をむしばみ、人間の尊厳・自由そして創造性を抑圧するものとなる。
- また、企業組織や都市社会においても、集中と肥大化を生み、かえって空洞化や人間疎外を進行させる。

「スモール・イズ・ビューティフル；人間中心の経済学」エルンスト・フリードリッヒ・シューマッハー、邦訳；講談社、1986年。

※スモール・イズ・ビューティフル



④小規模であることの意義

- 農福連携の実践主体は、**小規模な事業者**です。
- 中小企業や小規模事業者は、自らが地域で生活し地域で活動をしているため、**地域の特定の課題**を理解しやすいスタンスにあります。
- 生活舞台で見出される個別具体的な課題に、臨機応変に対応しながら、国や大企業とちがい画一的ではない、**多様な課題解決**が出来ます。
- 「福」の広がりとりわけ**教育との結合**は、次世代の育成や知識・技術・文化の継承を行い、ひいては**持続可能な社会**をつくる基礎となります。

⑤地域共生社会の主体

- 現実に地域にいる農福連携の主体は、大企業でも公機関でもなく、**小規模な事業者**であるということを忘れてはなりません。

- 経済主体
 - 生活主体
 - 文化主体
- 地域共生社会**の主体

5. 高齢者等の農福連携 ；コミュニティ農園・CSA

①みどりの食料システム戦略（農水省）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

②CSA 地域支援型農業とは

③コミュニティ農園事業の紹介

② C S A 地域支援型農業とは

「Community Supported Agriculture」

日本では「地域支援型農業」と呼ばれています。これは、消費者が生産者に代金を前払いして、定期的に作物を受け取る契約を結ぶ農業のことを言います。例えば、1年の前払い契約をし、その農家の会員となった消費者が、生産者より月2回、季節の野菜セットを受け取ることができる、などの例が挙げられます。

<https://agri.mynavi.jp/> マイナビ農業より

③コミュニティ農園事業の紹介

今年度、休眠預金活用の『新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成事業；支えあう多様なコミュニティづくり支援事業』をいただきましたので、その紹介を致します。

農福連携の経験を地域コミュニティ づくりにつなぐモデル事業

コミュニティ農園をみんなの協働でつくり
地域共生社会を実現しよう！

申請団体名；一般社団法人オルタナ

代表者名；泉 俊雄

申請事業の概要・活動について

A) コミュニティ農園

B) 相談支援者ネットワーク

※相談支援者育成講座と事例視察

C) コミュニティ活動の拠点づくり

コミュニティ農園（農福連携）

＜現状＞

コロナで社会参加抑
制・引きこもり傾向

＜当該事業＞

- ①居場所感が得られる
「個別農作業プログラム」
- ②相互協働が生まれる
「チーム・リハビリ・プログラム」
- ③仕事がお金に変わる経験、
そして、社会参加へ

＜将来＞

認定農業者を目指す

相談支援者ネットワーク

<現状>

将来の地域の人々がバラバラな状態
地域の福祉力を担う地域

<当該事業>

- ①障害者支援サービス事業所を訪問し、利用者をコミュニティ農園に結びつけるための窓口となってもらいます。
- ②「相談支援者」のスキルアップのための研修を行い、相互につながり合うことで、ネットワークにつないでいきます。
- ③地域コミュニティの拠点が継続できるよう給付事業の充実などで、事務局機能を準備していきます。

<

相談支援者を入り口とした
地域共生コミュニティ

私たちが考える「相談支援者」

「相談支援者」とは？

公的な福祉制度では、相談支援事業所*の「相談支援員」や「ソーシャル・ワーカー」が配置されていますが、その枠にとらわれず「家族」や「友人」、「近隣者」など、困っている人を「ほっとけない」と感じるすべての人を対象とします。

*介護保険の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会の生活困窮者自立支援窓口、病院の地域連携室などを含みます。

おわりにに代えて、農林水産政策研究所とJA 共済総研の報告書等をぜひ閲覧ください。

農林水産政策研究所では、平成19年度より(プロジェクト研究としては平成21年度より)、社会福祉法人等の農業分野への進出、障害者の農業分野での就労といった「農福連携」について研究を実施してきました。これまで以下のような研究成果を順次取りまとめてきています。(HP案内文より)

- 農業分野に進出してきた社会福祉法人等の実態分析
- 企業による農業分野での障害者雇用の実態分析
- 農福連携の先進事例における発展プロセスの分析
- 地方公共団体による農福連携に対する支援の現状と課題

<https://www.maff.go.jp/primaff/seika/nosanson/nofuku.html>

農福連携が切り開いてきた可能性が、
地域の「相談支援者」と結びついて、
地域共生コミュニティの拠点機能に発展します。

ご清聴ありがとうございました。



熊本市植木町の農場に集うオルタナの仲間たち